

地方公共団体金融機構 第 8 1 回代表者会議会議録

1 開会の日時及び場所

(1) 開会の日時

令和 7 年 3 月 1 8 日 (火) 1 0 時 3 0 分～1 1 時 2 0 分

(2) 場所

地方公共団体金融機構 第一特別会議室

2 出席委員等の氏名

(1) 出席委員

委 員 河野 俊嗣 (Web 参加)

〃 吉田 隆行

〃 小幡 純子 (Web 参加)

〃 神野 直彦

〃 池田 晃治

(2) 地方公共団体金融機構定款第 10 条第 3 項の規定に基づき、書面表決をした委員の氏名

委 員 牛越 徹

3 議事の概要

別紙のとおり

4 議決した事項及び賛否の数

議案 1 令和 7 年度事業計画 (案)

全員賛成

議案 2 令和 7 年度予算 (案)

全員賛成

議案 3 令和 7 年度資金計画 (案)

全員賛成

議案 4 収支に関する中期的な計画 (案)

全員賛成

以上

地方公共団体金融機構

代表者会議議長 河野 俊嗣

(別紙) 議事の概要

1 開会

議長より、本会議は、地方公共団体金融機構定款第 10 条第 1 項に規定する定足数に達しており、有効に成立している旨を報告。

2 議事

(1) 令和 7 年度事業計画 (案)

(2) 令和 7 年度予算 (案)、令和 7 年度資金計画 (案)、収支に関する中期的な計画 (案)

(3) 報告事項

事務局 (議案について説明し、報告事項について報告)

議長 議案等について質問等あるか。

委員 日頃から全国の町村に対して長期かつ低利の資金を融通いただき感謝申し上げる。

こども・子育て政策の強化、地方創生、人口減少対策、防災・減災対策など、自治体の財政需要はさらに増大していく中、令和 7 年度は緊急防災・減災事業や公共施設等適正管理推進事業、こども・子育て支援事業等について、円滑に事業を進めていくための資金を確保していただき感謝。また、地方支援業務について、人材育成に関する取組の更なる充実を図っていただくなど、人員・専門的な知識が不足する町村にとって大変心強く感じている。

長らく金利の低い環境が続いてきたが、今後は金利の動向を注視しながら財政運営を行わなければならない中、機構の役割はますます重要と認識。加えて、物価高や人件費の増大など地方財政は引き続き厳しい状況が続く。今後も現場の目線に立ち、健全な財政運営に向けた支援をいただくようお願いする。

委員 ご報告いただいた方針で事業を実施していただきたい。

埼玉県で下水道の老朽化に伴う事故が起こったところ、今後はますます社会インフラの老朽化対策が重要になってくる。政府においても対策が講じられると思うが、機構としても対応できることをしっかり行っていくことが重要。

地方支援業務について、未利用団体に対する活用の促進をぜひ進めていただきたい。また、未利用である理由についても把握していく必要があると考える。規模が大きく自前で解決できる団体は構わないが、小規模団体で本来支援が必要だが敷居が高く利用が進まない団体に対しては、団体のレベル・事情に合わせて支援が行えるということをしっかり周知していただきたい。

理事長 政府においても国土強靱化等の対策がとられていくと認識しており、機構としては、地方債に対する貸付けを通じて積極的に対応していくべく、総務省にも働きかけを行ってまいりたい。

地方支援業務における未利用団体について、来年度は利用者目線に立ったパンフレットの刷新を予定しており、各団体において有効に参照いただき活用が進むよう努力してまいります。

委員 全体について異論ない。

現在は非常に先行きの不透明な状況が続いており、歴史の地殻変動が起きているのだと認識。そのような中では、単純なHow to思考ではなく、事象の根本的な原因を見極め原点に立ち返って状況判断を行う必要がある。事業計画の中では、現状に対する認識や機構として果たすべき役割に立ち返って今後の事業の方針が立てられており、このような方針で進めていただきたい。

また、不安定な経済環境下では、地方財政においても団体間の格差が顕著に表れ、機構のような小規模団体の資金調達を補完する役割を果たす存在の重要性が増す。そのような意味でも安定的な資金調達・融通は重要であると考えます。

これまでは有形資産への投資に重点が置かれていたが、今後は、社会的な価値を重視し、自然環境や信頼関係、人的資本などの無形資産への投資にも比重を置く必要性が共有されつつあり、機構においても今後事業を実施するに当たって意識していただきたい。

理事長 社会情勢の変化等について、機構としても情報収集を行い業務に反映させていきたいと考えており、ご指導方よろしくお願い申し上げます。

委員 日銀の利上げやトランプ政権の動向、欧州の金利の動向など、不透明な状況が続くが、機構においては、まずは安定的な資金調達、貸付けに当たっていただきたい。

発行債券の期間について、資金調達計画にとらわれず柔軟な調達に努めていただきたい。金利が上昇していく中で、資金供給側も運用に積極的になっていくものと考えられる。特に機構債は国債にスプレッドが上乘せされており、運用側にとっては魅力的な債券。あわせて、グリーンボンドなどより有利な調達手段も活用しながら柔軟に資金調達を行っていただきたい。

経営・財務マネジメント強化事業について、地方公共団体間の広域連携はぜひ進めていただきたい。人口減少が進む中、団体間の連携はますます重要になっていくと考えている。

副理事長 柔軟な資金調達について、機構は定例債のほか、FLIP債という多様な年限の債券も発行しており、投資家の需要に積極的に対応してまいります。加えて、FLIP債は、安定的な経営を確保するために金利リスクをなるべく抑える観点から、貸付けサイドのデュレーションに合わせて調達のデュレーションを調整するためにも発行しており、その点も考慮しながら柔軟に対応してまいります。

理事長 経営・財務マネジメント強化事業について、来年度は「地方公共団体の広域連携」及び「地方税務行政のDX等」を新たに追加したところ、同事業は地方支援業務において有力なツールと考えており、今後も拡充

に向けて取り組んでまいりたい。

議 長 理事長をはじめ機構におかれては、安定的な資金調達や地方支援業務について尽力いただき感謝申し上げます。

国内の政治情勢や国際的な枠組みなど不安定な状況が続いている。個々の地方公共団体では対応が困難な点も多い中で、国内外の情勢について情報収集し地方へ還元いただく機構の役割はますます重要。今後も力添えをお願い申し上げます。

議 長 議案１から議案４について、原案のとおりでよろしいか。
(全員賛成)

議 長 議案１から議案４について、原案のとおり決定する。

3 閉会

議 長 議事を終了し、閉会する。

以上